

令和6年2月20日

千葉市教育委員会 様

千葉市教育委員会
指定管理者選定評価委員会会長 宮野モモ子

指定管理者の行った公の施設の管理に係る評価について（答申）

令和5年8月2日付け5千教総第418号による諮問のうち、標記の件について、下記のとおり答申します。

記

1 前提事項

2の本委員会の評価のうち、指定管理者の財務に関する事項は、本委員会に提出された財務諸表等の資料のみに基づくものであり、かつ、当該財務諸表等が、一般に公正妥当と認められる会計基準に従って、適正に作成されていることを前提としているものであること。

2 本委員会の評価

(1) 千葉市生涯学習センターにおける指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価
市による評価はおおむね妥当であると認める。

また、指定管理者の財務状況については、光熱水費、特に電気代の増額に注意が必要であるが、財務状況は良好であり、特段の問題は見られないことから、倒産・撤退のリスクはないと判断される。

その他、次の事項を本委員会の意見とする。

ア 引き続き、オンライン講座の充実により、利用者の増やサービス向上に努めるとともに、対面交流によるコミュニティ形成に資する取組みを行うなど、講座の内容や対象者ごとに適した手法により、利用者サービスの向上につなげていただきたい。

イ 発達障害や食物アレルギーといった社会全体の理解が求められる現代的な課題学習について、館内ポスターの掲示など様々な周知活動が図られているが、関心のない方にも理解が浸透するよう、さらなる働きかけによる企画実施に取り組んでいただきたい。

ウ ボランティアコーディネーター件数が目標を超える実績となるなど、成果が見られていることから、登録者と課題を抱える地域とのマッチングを行うことで、登録者の知識や技能を活用し、複雑多様化する地域の課題が解決されるよう、コーディネーターが円滑に行われる場の充実・支援を図っていただきたい。

(2) 千葉市公民館における指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価

市による評価はおおむね妥当であると認める。

また、指定管理者の財務状況については、光熱水費、特に電気代の増額に注意が必要であるが、財務状況は良好であり、特段の問題は見られないことから、倒産・撤退のリスクはないと判断される。

その他、次の事項を本委員会の意見とする。

ア ホームページから講座を申しこみできるようにフォームを整えるなど、利用促進、サービス向上のための取組みや、サークル発表の様子をソーシャルメディアを用いて動画配信するなど、ICTを使った事業の拡大に取り組んでおり評価できる。

イ 引き続き、寄せられた要望や苦情など、地域の方が持つ問題意識に留意しながら運営に努めていただきたい。

ウ 公民館に配置されているAEDについて、有事に備え、職員がすぐに使用できるように、日頃から使用方法を職員全体で共有していただきたい。

(3) 千葉市科学館における指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価

市による評価はおおむね妥当であると認める。

また、指定管理者の倒産、撤退等のリスクを把握するという観点から、財務に関する事項で特記するものはないと認める。

その他、次の事項を本委員会の意見とする。

ア 昨年度実施したリニューアルは、地域の科学ステーションの役割を果たすべく創意工夫が見られるものであり評価できる。

イ 引き続き、市内小学校団体利用の割合の目標達成に向け各学校への働きかけを行っていただきたい。

ウ メンバー会員の継続利用に関し、自動継続を検討するなど、利用者の負担軽減を行うとともに、会員の増に向けた方策を図っていただきたい。

また、リピーターを増やすための方法として、集客効果の見込めるきっかけをつくり、来館者増に向けた取組みを検討していただきたい。

以 上